

新型コロナワクチン接種のお知らせ

■ 問い合わせ 健康課 新型コロナウイルス感染症予防対策室 ☎ 67-5159 / FAX 67-7066

自分と大切な人を守るために決められた回数を接種しましょう。

対象者	接種回数	ワクチン	接種券の発送
小児（5～11歳）	2回	小児用ファイザー	接種時期がきたら発送します。 ※町に転入してきた人は申請が必要です。
12～17歳	3回	ファイザー	
18～59歳	3回	1, 2回目	
60歳以上	4回	ファイザー	申請が必要です。
・18～59歳の基礎疾患を有する人 ・医療、高齢者施設などの従事者	4回	3, 4回目 ファイザー またはモデルナ	



個別接種

▶ 接種できる町内の医療機関

※小児用ファイザーは原医院のみ

安藤医院	奥村クリニック
小幡医院	こがはらクリニック
篠原整形外科医院	原医院

- ※富岡市、下仁田町の医療機関でも接種できます。
- ※接種対象者の減少により協力医療機関を縮小することがあります。
- ※各医療機関の接種日の詳細については、富岡市公式 LINE「空き状況の表示」で確認いただくか、相談・予約センターへお問い合わせください。

集団接種 現在、実施予定はありません

新型コロナワクチン接種の予約方法

接種券付き予診票をご用意ください



予約には券番号が必要だよ

● コロナワクチン接種相談・予約センター

☎ 0120-500-662

月～金曜日（祝日を除く）午前9時～午後5時

● スマートフォン（LINE）

「富岡市公式LINE（ライン）」を友だち登録してください。



▲富岡市公式 LINEはこちら

感染者が再び増加中です ～感染対策と備蓄のお願い～

基本的感染対策

「マスクの着用（屋外で人との距離が確保できる場合などであれば不要）」「換気」「せっけんでのコまめな手洗い」「3密（密接・密集・密閉）回避」など基本的な感染対策を徹底しましょう。
風邪症状がある人は極力外出を控えましょう。

備蓄

感染に備え5日分程度の食料などを備蓄しましょう。
【備蓄品例】
○うどんなどの主食 ○レトルト（インスタント）食品
○缶詰 ○菓子類 ○経口補水液、スポーツ飲料
○洗剤 ○トイレットペーパー、ティッシュペーパー



甘楽町×ハルビン市 友好交流 30周年記念 vol.2



—連載2回目の今回は、友好交流の始まりをご紹介します！

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎ 74-3133



どうしてハルビン市と交流がはじまったの？



▲ハルビン市の街並み（1991年）

日本国内で国際化の風潮が高まっていたこと、多くの日本人が中国東北地方にいたことなどがきっかけになりました！

日本では1980年代に入ると、相互理解が重要となる国際交流の推進には、住民レベルの交流が不可欠であるとして、国内の各自治体で国際協力を目的とした海外都市との交流協定が結ばれ始めました。



▲第1次甘楽町視察団（1989年）

こうした中、甘楽町では日本人が多く住んでいた中国東北地方の中心都市ハルビン市との交流が検討され始めます。残留孤児の問題でハルビン市から来県していた王興仁氏の働きかけにより、1989(平成元)年、第1次甘楽町視察団がハルビン市を訪問し、交流方法の協議が始まりました。



友好交流に関する「覚書」には
どんなことが書かれているの？



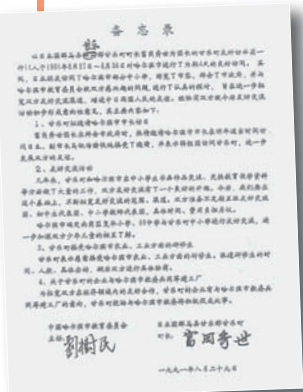
▲高速鉄道で各地へのアクセスにも
便利なハルビン駅

1991年に友好交流に関する「覚書」を締結しました！

視察団の派遣後、両市町は教育交流の推進などについて協議を重ね1991(平成3)年8月29日、第1次甘楽町使節団がハルビン市を訪問した際、友好交流に関する「覚書」を結びました。ここから30年にわたり継続した交流が始まりました。

ポイント

覚書では、両市町の交流の基礎の上に多方面にわたる交流を図っていくこと、双方の子どもたちの相互理解を深めることなどが記載されています。



▲覚書（中国語版）



2000年完成
高さ336m

電波塔「龍塔」の展望台
からの眺めは最高！

こうして交流が始まった両市町。次回 vol.3 では、歴代の両市町の子どもたちによる相互派遣交流の様子を特集します！